

平成17年度市長と町会長のまちづくり懇談会

質問・要望報告書

ちはら台地区会

質問・要望(タイトル)		小・中学校新設
質問者	町会名	もみの樹台自治会
	氏名	鋤塚 敏昭
質問順位		

【質問・要望とした経緯・背景・状況】

現在、ちはら台南中の生徒数は834人(各学年7クラス+特1クラス)と市内でも有数のマンモス校となっています。すでに重要な教育活動の一環である部活動には支障のする状態となっています。更に、先生方、PTAの努力にもかかわらず、残念ながら校外での喫煙など”学校が荒れる”兆しも見え始めております。

ちはら台地区3小学校をあわせたクラス数は7～9クラスとなっており、今後の地区外からの移住による生徒数増加を勘案すると憂慮すべき事態となっております。その次の世代である4～6歳、3歳未満の児童数は急増している状態であり(グラフ参照)、数年後南中がパンクすることは自明であり、早急な中学校の新設が必要です。

一方、ちはら台では、水之江小学校から北東方向の”ちはら台東”の宅地開発が進んでおり、水之江小学校の学区が広がる(地図参照)と同時に、児童の増加率が最も高くなっております。この地区での小学校新設も緊急性の高い課題となっております。

教育環境は、移住を検討している方々にとっては非常に重要なポイントとなります。市原市ちはら台地区が、千葉市おゆみ野地区と比較して発展が遅れないようにするためにも、中学校新設を是非ともご要望する次第です。財政状況厳しい中でも教育環境整備を最優先事項として進めていただくよう、佐久間市長殿のご英断をご要望申し上げます。

